

新年礼拝



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 1・1~9
戦いへの備え
強く、また雄々しくあれ。

ヨシュア 1・6

目標

信仰の戦いのために、み言葉による備えをする。

1月4日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1~9
強く、また雄々しくあれ。 6節

「ヨーシ！ ガンバルゾー！」と思うことがありますか？ どの時？ 「お腹いっぱいおいしい物を食べたし」とか「ボクがキャプテンに選ばれたんだから」とかいう時かな？ このヨシュアさんの場合はちょっと、いえ、かなりちがっているのです。それはまず、神様からの力づけでした。神様がヨシュアさんを選んで、共にいるから、み言葉を守り、従って、戦いに勝ち、民を導いていくんだよと言われたからでした。

祈り

天のお父様、小さい私たちにも毎日いろんなことがあり戦いです。あなたによって強く雄々しく歩めますように。

1月5日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1~2
主のしもべモーセが死んだ後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに言われた。 1節

神様の偉大なしもべモーセも死んでいなくなりました。二百万人もの人々をあのエジプト脱出から、四十一年の恐ろしい荒野の旅の間、そして今目の前に広がる約束の地カナンへの入り口にまでみごとに導いてきたモーセが目の前から消えたのですから、民はとっても不安だったでしょう。しかし、モーセにつき従ってきたヨシュアを神様はお選びになり、モーセのあとを民を導くために立てて、大いに励まされたのでした。

祈り

天のお父様、「あとを継ぐ人」の大切さを思い出します。小さい私たちも信仰の先輩たちにしっかり続いていきます。

1月6日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 1・3~4
あなたがたが、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、あなたがたに与えるであろう。 3節

「約束、ね！ ゆびきりげんまん」とやってもなかなか守れないのが私たちですね。でも神様はちがいます。一度お約束をしてくださったら、必ず、きっと、絶対に、何がどうなっても、きっちりとお約束を守り、果たしてくださいのお方なのです！ 「わたしがモーセに約束したように」とある通りです。ヨシュアと民が「足の裏で踏む所はみな」あなたがたに与えると言ってくださいます。何と心強いことでしょうか。

祈り

天のお父様、先にモーセと約束されたことを受け継いだ者たちの上にも果たしてくださいることを知り感謝です。

1月7日(水)

聖書
聖句

ヨシュア1・5

あなたが生きながらえる日の間、
あなたに当たることのできる者は、
ひとりもないであろう。 5節

これはまたまた、何という大胆なお約束ではありませんか！ヨシュアさんが生きている間、どんな戦いがあるとしても、ヨシュアさんを打ち負かしてしまう人は誰ひとりありませんという約束です。なぜなら、ヨシュアさんが目で見てきたとおり、あのモーセと共にいたように、あなたと共にいて、決して見放すことも見捨てることもしないからといわれます。あのモーセと共におられた神様が一緒ならきっと大丈夫！

いの
祈り

天のお父様、ヨシュアがいつもモーセのそばにいてあなたのみわざを見てきていたことはとても良いことでした。

1月8日(木)

聖書
聖句

ヨシュア1・6~7

それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。 7節

ヨシュアさんの務め、それは神様が先祖たちに与えると誓ったその土地をちゃんと民に得させることでした。だから、「強く、また雄々しくあれ」と励まされます。なぜならその務めはとても重いものですから。しかし、それを成しとげる秘訣があります。モーセが命令として与えた律法を全部守って、右にも左にも曲らないことです。それで勝利です。つまりVサインですよ！毎日み言葉に従って進みましょう。

いの
祈り

天のお父様、み言葉を毎日読み、心に覚え、力を頂いて、いろいろな事が起こる中も勝ち進めることを感謝します。

1月9日(金)

聖書
聖句

ヨシュア1・8

そうするならば、あなたの道は栄え、
あなたは勝利を得るであろう。 8節

「うーん、本当に幸せだな、祝福されてるな、神様、ありがとうございます」と思う日々がたくさんあるといいですね。いえ、そういう日が毎日だと、どんなにいいでしょう。そのためにはきょうのみ言葉にあるように、聖書のみ言葉を口から離さない、ということは、暗唱すること！そして、昼も夜もそのみ言葉を思うこと、さらにはそのみ言葉のとおりを守って行うことだということです。さあ、実行してみよう！

いの
祈り

天のお父様、本当の幸せと勝利の秘訣であるみ言葉をくださって心より感謝します。守り行わせてください。

1月10日(土)

聖書
聖句

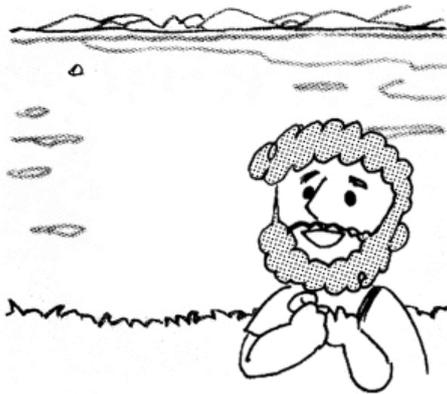
ヨシュア1・9

あなたの神、主が共におられるゆえ、
恐れてはならない、おののいてはな
らない。 9節

『強く、また雄々しくあれ』とのみ言葉は、この1~9節の中に3回もあります(6~7, 9)。これは神様からの命令なのですね。命令される神様は、またその命令に従える方もくださるのです。なぜなら、主なる神様が共にいてくださるので「強く、雄々しくあれ」なのです。モーセと共にいた神様、ヨシュアと共にいた神様が、きょうもこれからも毎日、どこへ行くにも、私たち一人ひとりと共にいてくださいます。ハレルヤ！

いの
祈り

天のお父様、力強いお約束があるので、もう恐れませんが、もうおののいたりふるえたりしません。感謝です。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 3・1~17
約束の地に入る
ついに民はみなヨルダンを渡り終った。ヨシュア 3・17

目標

神が約束し導かれたところに、信仰によって進み入る。

1月11日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1~17
ついに民はみなヨルダンを渡り終った。 17節

川を渡るにはどうする？そこに橋があれば橋を通ります。舟かボートがあれば乗って渡ります。では、何もなければ、泳いで渡りますか？浅い流れなら、歩いて渡るでしょう。でもこの場面で、イスラエルの民は、相当大勢の人たちで、お年寄りもいれば、赤ちゃんもいる、泳げない人もいるということで、一体どうやってヨルダン川を渡って約束の地に入ったのでしょうか？『信仰によって』です。ついに民はみなヨルダンを渡り終ったのでした！

祈り

天のお父様、イスラエルの民に信仰を与えて、約束の地に導き入れられたあなたを賛美します！その様子を学ばせてください。

1月12日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1
ヨシュアは朝早く起き、イスラエルの人々すべてとともにシテムを出立して、ヨルダンに行き、それを渡らずに、そこに宿った。 1節

あなたは夜型？夜になるとすごく元気になる、いつまでも起きていられる!?あるいは朝型!?夜になるにつれて眠くなって、でも朝は早く起きることができ、シャンとしますよというタイプ？神様の大切なお仕事をした人たちはいつも「朝早く起き」たとありますよ。大切な一日を朝早くから「きよい日」としたのです。日曜日は朝早く起きて教会で神様を礼拝いたしましょう！

祈り

天のお父様、あなたからいただく一日一日はとても大切です。ヨシュアのように朝早く起きて過ごしたいです。

1月13日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 3・2~4
あなたがたは前にこの道をとったことがないからである。 4節

さて、「信仰によって」ということは一体どのようにしてだったのでしょ？つかさたちは民に告げました、「主の契約の箱をレビびとたちがかきあげる時、立ち上がって彼らに従いなさい。そうすれば行く道がわかります。その道は前に通ったことのない道ですから。ただし900メートルぐらい離れてついていくのですよ」と。今までとおったことのない道に行くのはなんだか楽しみです。信仰によって進みましたよ。

祈り

天のお父様、民はほんとに大勢でしたが、つかさたちの言うことをよく聞いて、はじめての道も進んだことを知りました。

1月14日(水)

聖書
聖句

ヨシュア 3・5~6

あなたがたは身を清めなさい。あす、主があなたがたのうちに不思議を行われるからである。 5節

ヨシュアさんには、神様がなさろうとしておられた不思議なみわざがわかっておられたのでしょうね。だから、「身を清めなさい」とヨシュアは民に言いました。おそれの心をもって、身も心も清くして、神様の不思議なみわざを見せていただくように、ということでした。きっと民はみんな、「神様がしてくださる不思議って、どんなことだろう？」とドキドキワクワクしながら、身も心も清く備えたのでしよう。

いの祈り

天のお父様、あなたは本当にいろいろな不思議なことをしてくださるお方です。ますますおそれ敬っています。

1月15日(木)

聖書
聖句

ヨシュア 3・7~13

こうしてわたしがモーセと共にいたように、あなたとともにいることを彼らに知らせるであろう。 7節

「ヨシュアさんは本当にモーセの次に神様が選ばれた人だ、本当に神様がヨシュアさんと共におられる！」と、民の目にもわかるようになりますと、神様はヨシュアに言われて、作戦を教えられます。契約の箱をかく祭司たちの足がヨルダン川の水ぎわに行くときすぐ水の中に踏みとどまるように、すると上から流れくだる川の水はとどめられて、うず高くなりますと！これは本当に民が一度も通ったことのない道でした！

いの祈り

天のお父様、あなたは選んだヨシュアを信頼し、また民にも尊い器として示されました。あなたが共におられることがしるしです。

1月16日(金)

聖書
聖句

ヨシュア 3・14~16

塩の海の方に流れくだる水は全くせきとめられたので、民はエリコに向かって渡った。 16節

祭司たちや民たちは、いよいよヨルダン川に近づきました。刈入れの間中、水が岸一面にあふれているヨルダン川でした。四月頃のことだったので、ちょうど水がいっぱいの時でした。みんなは「オオーッ！」ってきつと思っただけでしようね。しかし、祭司たちの足が水ぎわにひたると、どうでしょう!! 上から流れくだる水がとどまるではありませんか！ 何と、何と、民は「信仰によって」かわいた地を渡りました。

いの祈り

天のお父様、あなたのみ言葉に従う時、偉大なみわざを見ます。今でも変わりないことを信じて期待します。

1月17日(土)

聖書
聖句

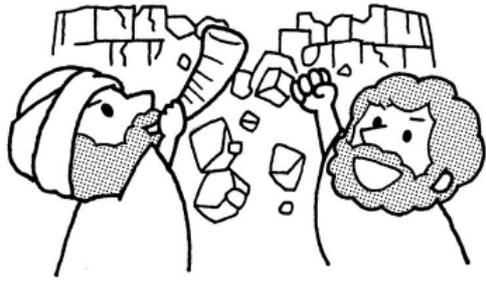
ヨシュア 3・17

主の契約の箱をかく祭司たちは、ヨルダンの中のかわいた地に立っていた。 17節

「えーっ！ 大丈夫かな～？ 水がドド～って、また流れてこないのかな～？」と、だれも思わなかったのです。エライ!! そんな堅い信仰を私たちも持ちたいものですね。祭司たちは言われたとおりにヨルダン川の中のかわいた地にずーっと立っていました。民が（…さて、何十万人、何百万人いたのかな？）みーんな渡り切るまでね。「そしてついに民はみなヨルダンを渡り終った」、渡り切ったのです！ ハレルヤー！

いの祈り

天のお父様、何という感激の瞬間だったことでしょう。約束の天の御国に行くまであなたを強く信じ続けます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 6・1～20

ヨシュア③ エリコの城壁

そうすれば、町の周囲の石がきは、くずれ落ち、民はみなただちに進んで、攻め上ることができる。

ヨシュア 6・5

目標

人間的な方法でなく、神の方法によって勝利を得る。

1月18日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 6・35

そうすれば、町の周囲の石がきは、くずれ落ち、民はみなただちに進んで、攻め上ることができる。 35節

イスラエルの人たちが、大きくて頑丈なエリコの町の壁を崩すためにしたことはなんでしょう？ ただ、神様の言うとおりに、壁の周りを毎日回っただけでした！

わたしたちは、問題が起きると、なんとか自分で解決しなきゃ！と考えてしまいます。目で見えるものだけを信じようとします。

でも、もし、あなたが神様を信じるなら、まずは神様がどう言っているかを知り、神様に従うことが大切なのです！ それが一番の勝利の近道なんです！

いの祈り

天のお父様、一番の勝利の近道であるあなたに聞いて従います。

1月19日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 6・2

見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたししている。 2節

イスラエルの人たちがどうやってもたおせないと思う敵の町。だけど神様は「あなたたちはもう勝っているよ！」と言われました。

戦ってもいないのに？ そうです！

神様は、神様を信じる人にはどんな問題や悪魔にも勝てる力をくださるお方です。そして、あなたの先頭に立って悪魔と戦ってくださるお方だから！

なんでもできる神様が「もう勝ったよ！」と約束してくれるなら、どんなことにも勇気をもって立ち向かえるよね！

いの祈り

天のお父様、どんなことにも勝てるあなたの力を信じます。

1月20日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 6・2

見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたししている。 2節

昨日のお話の続き！ あなたは、ごはんを食べる前、学校に行く前、勉強する前、お友だちとあそぶ前、何か大切なことをする前に、お祈りしますか？

ヨシュアは、エリコの町をたおしに行く前、神様のお言葉をしずかに聞きましたよ。そして、心に安心をもらって、今からどうすればよいか、一つ一つ教えてもらったのです。

聖書の中、お祈りの中から神様の声を聞こうとするなら、神様は必ずあなたに伝え、安心と知恵と力をくださることをわすれないでね！

いの祈り

天のお父様、なによりもまず、お祈りしてあなたのおことばを聞けますように。

1月21日(水)

聖書
聖句

ヨシュア 6・3~5

六日の間 そのようにしなければならぬ。
3節

神様にお祈りしたのにすぐに答えてくれない！「もうお祈りなんてやめた！」なんて言っている人はいませんか？

神様は、本当に信じて待っているか、そのお祈りが心からのものか、あなたを見ておられますよ。イスラエルの人たちも、神様に「待つこと」、「神様を信じて従うこと」を教えるもなかったんだ。

神様が用意してくださるふしぎなご計画と時とを信じて待てる、そんなあなたでいてくださいね！神様はいちばん良いときにいちばん良いこたえをくださるからね！

祈り 天のお父様、あなたの「時」があることを信じて待ちます。

1月22日(木)

聖書
聖句

ヨシュア 6・11~14

こうして主の箱を持って、町を巡らせ、その周囲を一度回らせた。11節

神様を信じている人たちがすることを、信じていない人を見ると、どんな風に見えるでしょう？ 賛美したり、お祈りしたり、聖書を読んだり、何の意味があるの？って思われることがたくさん！でもね、他の人にどんな風に思われても、神様を知っている人たちには、それはとっても意味のあることなのです！そして、神様を信じている人たちのすることは、信じていない人たちや悪魔を「あっ」と言わせるふしぎな力を生むのです！

そう、あなたのする全てのことに意味を持たせてくださる、それが神様のすばらしさだよ！

祈り 天のお父様、神様を信じて行うすべてのことがまわりの人や悪魔に「あっ」と言わせる力になりますように！

1月23日(金)

聖書
聖句

ヨシュア 6・17~18

あなたがたは、奉納物に手を触れてはならない。
18節

あなたは、神様が喜ばれないこと、おきらいになることが何かわかりますか？神様を信じているのに、神様が喜ばれないことをしていませんか？

エリコの町は、本当の神様に従わない、偶像のたくさんいる町でした。沢山の罪があるこの町を滅ぼすと神様がお決めになったので、その町にあるものは一つも自分のものにしてはいけません、と聖書は言っています。

あなたも、神様に従うなら、神様が喜ばないこと、罪だとわかっていることをしてはいけません！あなたもエリコのように滅びないために！という教えです。

祈り 天のお父様、あなたが喜ばないことや罪だと思ふことから離れて生きていきます。

1月24日(土)

聖書
聖句

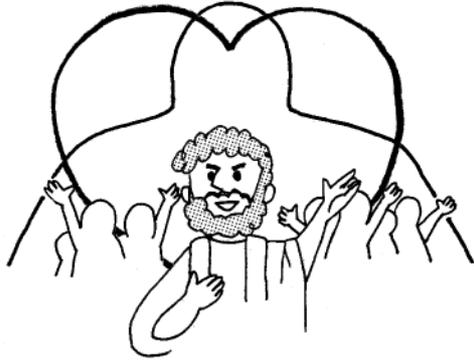
ヨシュア 6・19~20

民はラッパの音を聞くと同時に、みな大声をあげて呼ばわったので、石がきはくずれ落ちた。
20節

武器もあまりなく、戦うための訓練もそんなにしていなかったイスラエルがどうしてエリコに勝てたの？それは、ただ神様が一緒にいて力をくれたから！神様からはなれたらイスラエルは勝てなかったの。神様すごい！

あなたも同じ！あんまり自信がなくて、強くなくても、ただ神様が一緒にいてくださり、あなたが神様のみ言葉に従っているなら、どこでも何をしても怖がらずに進んでいけるよ！そして、神様に守られて、悪魔にも勝てる神様の子どもでいられるんだよ！神様に感謝しよう。

祈り 天のお父様、私を守り、助け、勝たせてくださるあなたに感謝して毎日を過ごします。



聖書
テーマ
暗唱聖句
目標

ヨシュア 24・14-15
ヨシュア④ 神に仕える決心
わたしとわたしの家とは共に主に仕えます ヨシュア 24・15
自覚的な選択と決心をもって神に仕える者となる。

1月25日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 24・15
わたしとわたしの家とは共に主に仕えます 15節

今日の言葉は、110才で亡くなるヨシュアが最後にのこしたメッセージだったんだ。

わたしたちも人生をふりかえると、きっと色々なことが思い出されて、あんなこともしたな、こんなこともあったなって思うだろうね。

でも、どれ一つとっても、自分の力だけでできたことはなく、神様の守りと助けがあったことをきつとわかるようになるよ。

あなたは、その神様への感謝や信仰を、どのくらい家族やまわりの人たちにバトンタッチできるだろうね。

一生、いっしょに神様を信じ、仕えていけるわたしたちでいようね!

いの祈り

天のお父様、一生あなたを信じて仕えていきますように。

1月26日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 24・14
それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え 14節

ちよっとスゴワザができる人に「今の神じゃね?」って言うてる人、ふえてきたね。

でも、神って? どこにでもあって、だれでもがんばれば神になるなら、この世界は神様だらけで、なんてうすっぺらい神様なんだろう。

本当の神様は、この世界を造り、人を造り、支配しておられるたった一人のお方だよ。

あなたは、その神様をどのように思い、どんな気持ちで向き合い、どう従っていますか。

たった一人の神様を何よりもだれよりも、尊敬していますか? 神様を恐れるって大事!

いの祈り

天のお父様、たった一人のわたしの神様としてあなたを尊敬し、大切にします。

1月27日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 24・14
それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え 14節

「まこと」ってことばには「完全になった」って意味があるんだって。神様を知らなかったときは、罪の中において、神様を神様だとも思えなかったし、神様がわたしたちを救って永遠の命をくださることもしらなかったね。

でも、もうイエス様を信じたときから、一人一人が造りかえられ、新しくなって、神様に仕えることができるようになったんだ。

罪の世界からぬけだして、新しい、まことの心で、神様に仕えて行こう!

いの祈り

天のお父様、古い自分ではなく、新しくされたまことの心で仕えていきます。

1月28日(水)

聖書
聖句

ヨシュア 24・14

それゆえ、いま、あなたがたは主を
恐れ、まことと、まごころと、真実と
をもって、主に仕え 14節

「真実」は、ゆりうごかされない心だつて。

いつも神様を信じているつもりでも、ほんの
小さな楽しみや悲しみにであっただけで、わた
したちの心はぐらぐら。だから、たんに教会に
行くぐらいならできて、心をまっすぐに神様
だけに向けて信じつづけるって、むずかしいね。

ただ、どんなときも、神様の真実はいつも、
だれに向かっても変わらないよ。あなたも、真実
の、ゆるがない心で、どんなときも神様を信じ
つづけ、従いつづけてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、ゆらぎやすい心を守って
ください。ゆらぐときには、あなたのわ
たしへの真実を思い出せますように。

1月29日(木)

聖書
聖句

ヨシュア 24・14

あなたがたの先祖が、川の向こう、
およびエジプトで仕えた他の神々を
除き去って、主に仕えなさい。14節

神様とあなたの大切なものをならべてみて、
どっちをとる？って聞かれたら「神様だよ」と
答えるのはかんたんかもしれないね。でも、
聖書を読むよりゲームやテレビの方が好き
だったり、お祈りより占いやおまじないにた
よったりなんてことないですか？

だから、今、自分が何を一番にしているのか、
本当に一番にしないといけないのは何かを、よ
く考えてみてください。もし、神様が喜ばれ
ないことが心の中にあるなら、そのときは、
「除き去る」ことが大切！

いの
祈り

天のお父様、あなたに喜ばれないもの
を心から除き去って、従っていきます
ように。

1月30日(金)

聖書
聖句

ヨシュア 12・15

あなたがたの仕える者を、きょう、
選びなさい。 15節

神様は、人が、みんなロボットみたいに
自動的に神様に従うようにわたしたちを造ら
ず、「選択=えらぶ」力をくださっているね。
中には、神様じゃないものを信じたり、信じな
い自分を信じて生きたり、信じたいけど従い
たくない人もいるね。だから、人が「わたしは
神様を信じて生きます」という決心がないと、
永遠の命はうけとることができないんだ。

でも、もし、神様を信じて生きる決心をし、神
様を愛していくなら、あなたの人生を、神様が
責任をもってみちびいてくださるよ。

いの
祈り

天のお父様、選ぶ力をありがとうございます。
あなたを愛して従う道を、い
つも選択できますように。

1月31日(土)

聖書
聖句

ヨシュア 12・15

ただし、わたしとわたしの家とは共
に主に仕えます。 15節

あなたは、なぜ神様を信じ、教会に行くの？
お父さんやお母さんが教会に行くから？
教会の先生が好きだから？もし、そうなら、
家の人が教会に行かなくなったり、教会の
先生が変わってしまったらこまりますね。

注目してほしいのは、「ただし」ということ。
だれかが行くから、好きな人がいるから、神
様を信じるのではなく、たとえそうでなくても、
神様が、あなたの神様だから、信じていくん
です。どんなときも神様を信じつづけるあなたで
いてくださいね！

いの
祈り

天のお父様、だれかや何かがあるからで
なく、あなたがわたしの神様だから、信
じて生きていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 18・1~5
幼な子のように
心をいれかえて幼な子
のようにならなければ、天国にはいること
とはできないであろう。

マタイ 18・3

目標

幼な子のようにへりくだった
心で生きる。

2月1日(日)

聖書
聖句

マタイ 18・3

心をいれかえて幼な子
のようにならなければ、天国にはいること
とはできないであろう。 3節

イエス様の時代の子どもや女の人
がどんなだったか、わかりますか？

人の数を数えるとき、大人の男
の人は数えてもらえても、女の人
や子どもは数えてもらえない
くらい、ちっぽけなそんざい
だったんだ。

小さな助けと守りが
ない生きていけないような
子どものこと、イエス様が
どんなにか大事にして
おられたか、イエス様の
おはなしを聞くと分かる
ね。

イエス様の愛は、どんな
小さな人にもとどいて
いることをわすれない
でね。

祈り

天のお父様、どんな人でも愛
してください。さあ、
イエス様をありがとうございます。

2月2日(月)

聖書
聖句

マタイ 18・1

いったい、天国ではだれが
いちばん偉いのですか。 1節

おやおや。イエス様のお弟子
さんたちが、イエスさまの前
でケンカしてるみたい。

お弟子さんたちが気になっ
ていたのは「天国でだれが
いちばんか」ということ。

お弟子さんたちは、イエス
様ではなく、自分が偉くなる
こと、自分が得をすることに
心がうばわれていたのです。

この世界では、だれが
いちばんかっこいいとか、
いちばん運動ができるとか、
頭がいいとか、そんなこと
で偉さが決まってしまう
んですね。

でも、この世界のルールと
天国のルールはずいぶんち
がうことを知らなければ
なりません。

祈り

天のお父様、天国のルール
をもっと知っていくこと
ができますように。

2月3日(火)

聖書
聖句

マタイ 18・2

イエスは幼な子
を呼び寄せ、彼らの
まん中に立たせて
言われた。 2節

イエス様は、お弟子さん
たちがケンカして、自分の
ことばかり考えているの
を見て、「コラァー！！」と
怒ったりはしません
でした。

そう、あの子どもを
お弟子さんたちのまん
中に立たせられた
のです。

きっと、だれが偉い
かなんて言っていた
お弟子さんたちは、
子どものすがたを
見てハッ！とした
でしょうね。

どんなときも、イエス
様は、見えるように、
分かるように、ま
ちがいを教え、正
しい道にみちび
いてくれる良い
先生ですね。

イエス様ってすごい！

祈り

天のお父様、ま
ちがいや正しい
ことをわかり
やすく教えて
くださるイエ
ス様に感謝
します。

2月4日（水）



マタイ 18・3

心こころをいれかえておきなご幼な子このようにならなければ、天国てんごくにはいることはできないであろう。 3節

イエス様は、幼な子おきなごのような人ひとこそが天国てんごくに入るよ、と教おしえてくださいましたね。

この世界せかいで偉えらいと思おもわれるような人ひとではなく、神様かみさまの守まもりと助たすけがないと生きていけないことに気づいた人ひとが、神様かみさまから大切たいせつにされることを教おしえてくださったんだね。

そして、偉えらさをくらべあう心こころがだれにでもあることを、イエス様イエスさまは知しっておられたんだね。

あなたの心こころの中なかはどうか？ 「心こころをいれかえて！」いっしょに天国てんごくに行けるわたしたちでいようね！

祈り 天てんのお父様とうさま、人ひととくらべて生きる心こころをいれかえます。天国てんごくに行ける心こころにしてください。

2月5日（木）



マタイ 18・4

この幼な子おきなごのように自分じぶんを低ひくくする者が、天国てんごくでいちばん偉えらいのである。 4節

どうすれば「自分じぶんを低ひくく」できるんだろう？ どうせ自分じぶんなんか…って思おもうこと？ いいえ！

神様かみさまが、あなたを愛あいして愛あいして、イエス様イエスさまを身代わりみかわりに十字架じゅうじかにかけてくださったことを知るとき、自分じぶんの本当ほんとうの姿すがたがどんなであるかわかるね。愛あいがなく、おろかで、小さい、神様かみさまにただ救すくってもらった自分じぶんのことがね。

どうか、いつもイエス様イエスさまの十字架じゅうじかをわすれず、感謝かんしゃとよろこびをもって、神様かみさまにたよるあなたでいてください！

祈り 天てんのお父様とうさま、あなたがわたしを愛あいして、イエス様イエスさまを十字架じゅうじかにつけられたことをいつまでもわすれずに生きていけますように。

2月6日（金）



マタイ 18・5

このようなひとりひとりの幼な子おきなごを、わたしの名なのゆえに受けいれる者ものは、わたしを受けいれるのである。 5節

自分が救すくわれて、天国てんごくに行ける者ものにされたということは、とってもうれしいことです。でも、こんなときのまちがいは「わたしは天国てんごくに行けるけど、あの人ひとたちは行けないでしょ」という考かんがえ。本当ほんとうにそれでいいですか？

イエス様イエスさまが来てくださったのは、滅ほろびる者ものを救すくうためでした。そして、あなたが滅ほろびないように救すくってくださっただけでなく、今いま、罪つみの中なかで苦しんでいる人ひとたちを救すくいたいとねがっておられるよ。

祈り 天てんのお父様とうさま、自分じぶんが救すくわれたことだけをよろこぶのではなく、もっと救すくいが必要ひつような人ひとのことも考かんがえていきます。

2月7日（土）



マタイ 18・5

このようなひとりひとりの幼な子おきなごを、わたしの名なのゆえに受けいれる者ものは、わたしを受けいれるのである。 5節

学校がっこうに行くと、好きな友ともだちだけじゃないよね。いじめっ子こやいじめられっ子こ、悪口わるぐち言う子こにちょっと変わった子こ。そんな子こたちのこと「フン」「あっち行け」「きらい」「ムシしょ」って思おもっちゃうかもしれないね。

でも、イエス様イエスさまは「受け入れなさい」って言うんだ。神様かみさまの愛あい、イエス様イエスさまの教おしえてくれたこと、あなたがもらったたくさんめいの恵めぐみを、こんどはあなたが伝つたえていく番ばんだよ。

祈り 天てんのお父様とうさま、あなたがわたしにくださった愛あいを、どんな友ともだちにも同おなじようにあげられますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 18・12~14

迷子の羊

もしそれを見つけたなら…迷わないでいる九十九匹のためよりも、むしろその一匹のために喜ぶであろう

マタイ 18・13

目標

一人を追いかけて救おうとされる神の御心を知って生きる。

2月8日(日)

聖書
聖句

マタイ 18・13

もしそれを見つけたなら…迷わないでいる九十九匹のためよりも、むしろその一匹のために喜ぶであろう。 13節

つらい思いをして、もう教会に来なくなった子を知ってるかな？ でも、「いいよいいよ、一人いなくてもほかの子は来てるから…」いなくなった子を気にすることもなく毎日が過ぎていく。これがこの世界の考え方だね。

でも、今日のお話はちょっとちがうみたい。百匹の羊の中で、たった一匹がいなくなったときに、本当に気にしないといけないのは一匹のほうだって！

この世界のルールと天国のルールにはこんなに大きなちがいがあるんだね！

祈り

天のお父様、この世界だけでなく、もっと天国のルールを知らせてください。

2月9日(月)

聖書
聖句

マタイ 18・12

あなたがたはどう思うか。 12節

昨日は、この世界のルールと天国のルールのちがいのことを話したけれど、それを聞いてあなたはどのようにおもうましたか？

もし、今まで、みんなと同じように、この世界のルールがあたりまえだと思って生きていたら、少し立ち止まってみてください。

イエス様も、あなたに「どう思うか？」と聞いています。たんに「ああそうなんだ〜」って「思う」だけではなく、どうしていけないといけないか？ 今までなんでもないように思っていた人も、そのことをもっと考えなさい、ということだね。イエス様の言葉を考えようね。

祈り

天のお父様、もっと深く、イエス様の言葉の意味、天国のことを考えていきますように。

2月10日(火)

聖書
聖句

マタイ 18・12

その迷っている羊を捜しに出かけないであろうか。 12節

羊飼いが、たった一匹の羊を捜すために出かけていくことを想像してみてください。

岩や崖のある場所かもしれません。オオカミやヘビの危険もあるでしょう。日が暮れたら真っ暗闇になってしまいます。それでも最後まであきらめずに捜すということは、羊飼いの命がけにならないとできないし、羊を心から愛しているんだね。

わたしたちも、神様を信じる前はこの一匹の羊とおんなじだったんだ。命がけでイエス様が助けてくれたから、今のあなたがいるんだね。

祈り

天のお父様、わたしもいなくなった一匹の羊でした。イエス様の命がけの救いを感謝します。

2月11日(水)



マタイ 18・12

その迷い出ている羊を捜しに出か
けないであろうか。 12節

きのう
昨日のつづき！

この羊のお話は、神様がどんなにわたしたちを愛しているかを教えてくれるたとえです。

神様は、どの人も同じように愛して下さるお方です。でも、人間はちがうんだ。顔や性格やお金のことで、人のことを好きになったりきらいになったり…だれも受け入れなくて、だれも愛さない人だったとしても、それでも神様はその人のことを愛していることをわすれないでください。

神様の愛は、今日もそんな人を捜し、追いつづけていることを感じてください。

いの
祈り

天のお父様、たくさんの方が、あなたに見つけ出されますように。

2月12日(木)



マタイ 18・13

迷わないでいる九十九匹のため
よりも、むしろその一匹のために喜
ぶであろう。 13節

この羊の話の話を聞いていると、羊の群れは、イエス様に助けられたわたしたちのことだっ
て分かってくるね。そして、一人一人を神様が
大切に思ってくださいすることもわかったね。

でも、もう一つ大切なことがあるよ。

それは、いなくなった、たった一匹の羊を思
う神様の気持ちを自分の気持ちにしていくこ
と、イエス様の思いを自分の思いにしていくこ
とです。そうすれば、人が一人救われることの
喜びがどんなにすばらしいかわかるよ！

いの
祈り

天のお父様、あなたの思いにわたしの思
いを合わせて生きていけますように。

2月13日(金)



マタイ 18・14

これらの小さい者のひとりが滅び
ることは、天にいますあなたがたの
父のみこころではない。 14節

あなたは、神様があなたを愛し、受け入れて
くれたように、家族やお友だちや教会の人を
受け入れてますか？

自分が気に入ったから、好きだから受け入れ
ることはかんたんなことです。この「～だから」
愛するの愛でなく、神様の愛は「たとえ～でも」
愛する愛なのです。まだあなたが罪人だったと
きでも愛してくれた神様の愛が大切なんだね。

どんな人でも受け入れる神様の愛をもらっ
て、すごしてくださいね！

いの
祈り

天のお父様、「～だからの愛」ではなく
「～でもの愛」をください。どんな人
でも受け入れられますように。

2月14日(土)



マタイ 18・14

これらの小さい者のひとりが滅び
ることは、天にいますあなたがたの
父のみこころではない。 14節

きのう
昨日はどんな一日でしたか？

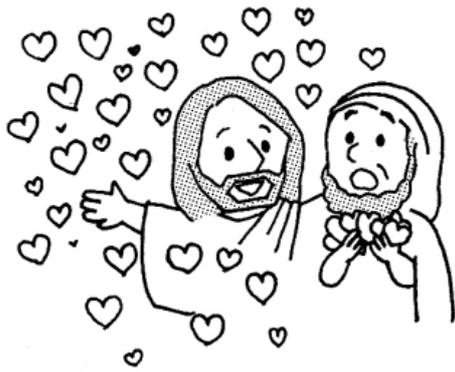
あなたのまわりに、だれにも目にとめられない
人、助けが必要な人、悲しそうにしている人、
嫌われている人はいませんか？ 今日、
あなたはその人に何をしてあげられますか？

神様の愛と赦しをいただいたわたしたちは、
今は神様の使者！ 神様のために生きてるんだ。

一日をふりかえて、新しい一日にはどん
なことができるか、神様を喜ばせることを
計画し行なうあなたでいてください！

いの
祈り

天のお父様、聞いただけで終わるのでは
なく、一日一日、あなたのために何か行
なえる子どもとしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 18・21～35
七たびを七十倍するまで
わたしは七たびまでとは言わない。
七たびを七十倍するまでに
しなさい。 マタイ 18・22
神の無限の赦しを覚え、人を赦
す者となる。

目標

2月15日(日)

聖書
聖句

マタイ 18・22
わたしは七たびまでとは言わない。
七たびを七十倍するまでにしなさい。
22節

「仏の顔も三度」って言葉を知ってる？
どんなやさしい人でも、失礼なことをくりかえせば怒りだすってことみたい。イスラエルでも、「三度までは人を赦しなさい」って教えがあったんだって。でも、イエス様はちがうね！
七を七十倍だって！490回赦して491回目からは赦さなくていいよってこと？ いいえ！この意味は「とことん赦す」ってこと！
そんなのできるわけないじゃん、って思ってるあなた。イエス様が言うからには、あなたも赦せる人に、しかも、とことん赦す人になるよってことなのです！

祈り
天のお父様、イエス様の言われるようにとことん赦す人になってください。

2月16日(月)

聖書
聖句

マタイ 18・21
兄弟がわたしに対して罪を犯した場合、幾たびゆるさねばなりませんか。七たびまでですか。 21節

ペテロはいつもイエス様の一番でいたいと思うお弟子さんでした。そして、あるとき、赦しについてイエス様に聞いてみたんだ。
ペテロは、三度もでなく七度も赦すなんて、なんと心が広いんだとほめてほしかったかもしれないね。みんながあっ！とおどろいて、やっぱりペテロはイエス様の一番だって思われたかったかもしれないね。
でも、ペテロは赦しということをまだよく分かっていませんでした。

祈り
天のお父様、わたしも赦しのことをまだよく分かっていません。イエス様の赦しのことわかる子どもにしてください。

2月17日(火)

聖書
聖句

マタイ 18・23～27
一万タラントの負債のある者が、王のところに連れられてきた。 24節

ペテロのしつもん、イエス様はあるたとえを話しはじめました。
王様にお金を借りていた僕の話。一万タラントってね、一万年働いても返せないお金。そんなお金どうすりゃいいのさ！！
でも、僕が必死に「お金を返すまで待ってください！」と言うのをかわいそうに思い、借金をなかったことにしてくれたのです！
この、返せない借金は罪のこと。赦したのは神様、赦されたのはわたしたち一人一人のことだよ！神様のあわれみの大きさに感謝だね。

祈り
天のお父様、返しきれない罪を、あなたが赦してくださったことを感謝します。

2月18日(水)

聖書
聖句

マタイ 18・28～30

その僕が出て行くと、百デナリを貸しているひとりの仲間に出会い、彼をつかまえ、首をしめて『借金を返せ』と言った。 28節

王様に返しきれない借金を赦してもらった僕。ところが、帰り道に出会った仲間を見たとき、首をしめて「金をかえせ～！」と言い、牢屋に入れたのです。百デナリって百日分のお給料だから返そうと思えば返せるんだ。でも、僕は仲間を赦せませんでした。

僕は、自分がどんなに王様にあわれんでもらったか、赦しの大きさや意味を分かっていたのです。

あなたも、罪を赦されたことの意味を考えてみてくださいね。

いの

祈り 天のお父様、赦されたことの意味を、心から分かりますように。

2月19日(木)

聖書
聖句

マタイ 18・31～34

わたしがあわれんでやったように、あの仲間をあわれんでやるべきではなかったか。 33節

王様は、赦してあげた僕が自分の仲間にしたことを聞いて、ものすごく怒りました！そして、僕は王様の牢屋に入れられてしまいました。

人のしたことを赦すというのは、かんたんなことではありません。王様だって一万タラントを赦したとき、その一万タラントは王様が背負ったのと同じこと。それほどに赦してもらったならば、僕も、王様のような心で、仲間を赦す人にならなければなりませんでした。赦された人は、赦す人になるはずですね。

いの

祈り 天のお父様、わたしもたくさん赦されているのに、小さなことを赦せずにいました。ごめんなさい。

2月20日(金)

聖書
聖句

マタイ 18・35

もし心から兄弟をゆるさないならば、わたしの天の父もまたあなたに対して、そのようになさるであろう。 35節

今週のお話を聞いてきて、神様があなたに何を願っておられるか分かりましたか？

これは、あなたへの「赦しのチャレンジ」！自分のちっぽけでせまい心では人を赦せませんが、神様からもらった赦しと愛とがあるならば、あなたも赦す人になるのです。

一日一日、自分が返しきれない罪を赦された人であること、感謝し、神様のためにだれかを赦せる人になっていこうね。

いの

祈り 天のお父様、あなたのチャレンジを受け取りました。わたしが赦されたように、わたしもだれかを赦す人になります。

2月21日(土)

聖書
聖句

マタイ 18・22

わたしは七たびまでとは言わない。七たびを七十倍するまでにしなさい。 22節

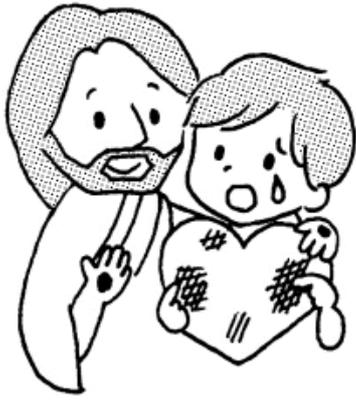
イスラエルで「七」は「完全」の意味だけど、イエス様はその完全に、完全をかさねて赦すように言われたんだね。

そのイエス様が、わたしたちの罪のために十字架で苦しまれたすがたを見ると、罪がまったく、完全に赦されたことがよく分かるね！

だれかに傷つけられたとしても、その傷は人へのうらみではなく、イエス様が自分のために苦しんだことを思う傷あとして見つめられるようになるよ。イエス様の傷によってわたしたちは赦され、いやされているよ。

いの

祈り 天のお父様、完全に罪を赦すために十字架にかかれたイエス様をありがとうございます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 20・20～28
仕える生き方
人の子がきたのも、仕えられるため
ではなく、仕えるためであり、また
多くの人のあがないとして、自分の
命を与えるためである。

マタイ 20・28

目標

仕える生涯を送られた御子を
覚え、仕える生き方をする。

2月22日(日)

聖書
聖句

マタイ 20・26～27
あなたがたの間で偉くなりたいと思
う者は、
26節

「偉くなりたい!」と思ったことがある人は
いますか? もっと身近なところだと、「グ
ループのリーダーになりたい」「班長やりた
い」「そんなこと思わないよ…」という人も、
リーダーや目だつ人がいると「いいなあ」「あ
んなふうにはなれないなあ」と、うらやまし
くなる場合があります。人間って、人の上に立ち
たい!という思いが心のどこかにあるものな
んです。

今週は、イエス様が本当のリーダーってど
んな人なのか教えて下さいませよ。あなたが
考えているリーダーのイメージとは、全然ち
がうかもしれません。

祈り 天のお父様、本当のリーダーはどんなリー
ダーなのか、教えてください。

2月23日(月)

聖書
聖句

マタイ 20・20～21
ゼベダイの子らの母が、その子らと
一緒にイエスのもとにきてひざまず
き、何かをお願いした。 20節

イエス様のところに、ゼベダイの子ヤコブと
ヨハネ、彼らのお母さんがいっしょにやって来
ました。お母さんは「イエス様が王様になった
時、わたしの息子たちがあなたの右と左に座
れますように」言いました。つまり、「息子た
ちが特別に偉い人になれるようにしてくださ
い」とお願いしたわけです。

自分や自分の家族のことだけを特別にして
ほしい! そう思ってしまう危険は誰にでもあ
ります。わたしたちも心の中を点検してみま
しょう。

祈り 天のお父様、自分や自分の家族のことだけ
を考える危険からわたしを守ってくだ
さい。

2月24日(火)

聖書
聖句

マタイ 20・22
あなたがたは、自分が何を求めている
のか、わかっていない。 22節

お母さんをお願いをさせて、実は自分たちだ
けが偉くなりたいヤコブとヨハネ。イエス様は、
「あなたがたは、お願いしていることの意味が
わかっていませんよ」と言われました。さらに、
「わたしが飲もうとしている杯を飲めます
か?」と質問をされました。「杯」とは、イ
エス様が十字架にかかる苦しみのことです。彼
らはその意味も考えないで、「できます!」と
答えました。

ヤコブとヨハネは、自分勝手にわがままなお
願いをしていることにまったく気づいていな
かったのです。わたしたちも、神様に自分勝手
なお願いばかりしていないかしら。

祈り 天のお父様、わたしが自分勝手にわがま
まなお願いをしないように守ってください。

2月25日(水)



マタイ 20・23

わたしのすることではなく、わたしの父によって備えられている人々だけに許されることである。 23節

自分勝手なお願いに対してイエス様は、「それは、わたしが決めることではありません。父なる神様が決めることです」とハッキリ言われました。神様が考えて神様が決められることですから、自分から「偉い人になってください!」とお願いするのはおかしなことですね。

ついつい、自分のお願いはかりを聞いてほしいくなる、わたしたち。お願いするのは良いですが、最後は神様がお決めになることに従うこと。それがいちばん大切です。あなたにとって何がいちばん良いことか、いちばん良く知っているのはあなたではなく、神様!

いの祈り 天のお父様、あなたが決められたことに、すなおに従えるようにしてください。

2月26日(木)



マタイ 20・24~25

十人の者はこれを聞いて、このふたりの兄弟たちのことで憤慨した。 24節

ヤコブとヨハネが「特別に偉くなりたい!」お願いしたのを知って、ほかの十人の弟子たちはプンプンおこりました。なぜかという、「自分だって偉くなりたいのに、ずるいぞ!」と思っていたからです。実は、弟子たち全員が、偉い人になりたいと考えていたのでした。

この世界の偉い人、つまりリーダーというのは、人々に命令して言うことを聞かせる人、何かすごいことができる人。それがリーダーだと弟子たちは思っていました。イエス様は、弟子たちの考えるリーダーが正しくないことを教えるため、彼らに話を始められました。

いの祈り 天のお父様、人に命令したり、すごいことができるのがリーダーではないと知りました。正しいリーダーを教えてください。

2月27日(金)



マタイ 20・26~27

あなたが間であらになりたいたいと思ふ者は、僕とならねばならない。 27節

イエス様は、「偉くなりたい人は、仕える人になること。リーダーになりたい人は、しもべのように人々をお世話する人になりなさい」と言われました。弟子たちは、思いもよらないイエス様の言葉にびっくり! 自分たちが考えていた偉い人、リーダーとは全然ちがうことを言われたのですから。

本当のリーダーは、偉そうに命令する人ではありません。何かすごいことができる人でもありません。人々にやさしい言葉をかけ、気を配り、まごころをこめてお世話をする人が本当のリーダーなのです。

いの祈り 天のお父様、正しいリーダーがわかりました。やさしく人々に仕えることができる、本当のリーダーになれますように。

2月28日(土)



マタイ 20・20~28

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである。 28節

本当のリーダーのすがた、それはイエス様のすがた。イエス様は神の御子なのに、人として生れてくださいました。それは偉い人になって、偉そうに命令するためではなく、人々に仕えるためだったのです。偉そうにするどころか、いつも貧しい人々や困っている人々にやさしく仕えておられました。そして、わたしたちのために十字架にかかって、命まで捨ててくださったのです。

イエス様こそ、わたしたちが目指すべき本当のリーダー。イエス様のように人々につかえることができるよう、祈りましょう!

いの祈り 天のお父様、イエス様にならって、人々に仕える生き方ができますように。



聖書

マタイ 22・34～40

テーマ

一番大切な戒め

暗唱聖句

心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。 マタイ 22・37

目標

一番大切なこととして、神を愛し、隣人を愛する生き方をす

3月1日(日)

聖書
聖句

マタイ 22・34～35

そして彼らの中のひとりの律法学者が、イエスをためそうとして質問した。35節

今週も、イエス様の大切な教えを学びましょう。イエス様は多くの人々に尊敬されていましたが、それをよく思わない人たちもいました。サドカイ人たちは、イエス様を困らせようとむずかしい質問をしましたが、イエス様はみごとに答えられました。くやしさいっぱいのサドカイ人のところへ、今度はパリサイ人が。その中のひとりが、イエス様をためそうとして、またむずかしい質問を持ってきました。

あなたも神様について質問されることがあるかもしれませんね。イエス様の知恵をいただいて答えられるよう、祈りましょう。

祈り 天のお父様、神様について聞かれた時、答えることができるよう知恵を与えてください。

3月2日(月)

聖書
聖句

マタイ 22・36

先生、律法の中で、どのいましめが一番大切なのですか。 36節

律法とは、旧約聖書に登場するモーセの律法のこと。モーセはたくさんいましめを、神様から教えてもらいました。パリサイ人たちはさらに、そのいましめを細かくして、なんと六百以上のいましめがあったのです。その中で、どれが一番大切かなんて、いじわるな質問ですね…。

はたして、イエス様はどれが大切だと言われるのでしょうか。わたしたちにとって、イエス様の言われることが何より大切です。何が一番良いのかな？とわからなくなった時、イエス様は何と言われたか、いつも聖書を開くようにしましょう。イエス様の言葉に、注目！

祈り 天のお父様、イエス様のみことばを、何よりも大切にしていけますように。

3月3日(火)

聖書
聖句

マタイ 22・37

心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。 37節

イエス様が「神様を愛しなさい！」ということでした。しかも、心をつくし、精神をつくし、思いをつくして愛しなさい、と言われる。心いっぱい、身体いっぱい神様を愛しなさい、何よりも神様を愛しなさい！ということなのです。

それは、まず神様があなたを愛してくださったから。神様があなたのことを、心をつくし、精神をつくし、思いをつくして愛してくださっていることを、心にとめてください。神様に愛されていることがわかると、神様を愛していきたいと心から願うようになるのです。

祈り 天のお父様、神様がわたしを愛してくださったのですから、わたしも神様を心から愛していけますように。

3月4日(水)



マタイ 22・38

これがいちばん大切な、第一のいましめである。 38節

神様を愛しなさい！というのは、つまりどんなことをすればよいのでしょうか。「神様、大好きです！」とお祈りするの、ととてもすてきなことだと思います。でもそれだけじゃなくて、大好きな気持ちをちゃんと行動にうつすことが大切です。それは、神様によることで従うことです！逆に、神様に従わないことは、神様を愛していないことになってしまいます。

だから、「大好きな神様によることでほしくない」と思いながら、心から従うのです。それが神様を愛する、ということ。神様に従って、神様への愛をいっぱいあらわしていきたいですね。

祈り 天のお父様、大好きなあなたに、心から従っていきたいです。

3月5日(木)



マタイ 22・38~39

自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。 39節

イエス様がいちばん大切だと言われた、いましめ。それは「神様を愛しなさい」だけではありませんでした。「あなたの隣り人を愛しなさい、これも同じ様に大切です」と言われたのです。

神様を愛する人は、人を心から愛するようになります。神様が愛しておられる人々を、自分を大切にするように愛していく人になります。人を愛することは、神様が何よりもよこされるのです。だから、人を愛さないなら、神様を愛していないことになってしまいます。

神様を愛することは、人を愛すること。これはワンセットです。

祈り 天のお父様、自分を大切にするように、隣り人を愛することができますように。

3月6日(金)



マタイ 22・39

自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。 39節

イエス様は「隣り人を愛しなさい」と言われましたが、あなたにとって隣り人って、だれでしょうか。家族、お友だち、知っている人とか。でも、イエス様が言われている隣り人ってそれだけじゃないんです。困っている人や、悲しんでいる人がいたら、その人も隣り人。さらに、あなたに悪口を言ったり、イヤなことをしてくる人も隣り人なのです！むしろ、自分が苦手な人こそ隣り人なんです。そんな人を愛することができるかな。やさしく親切にできるのかしら。自分の力では、もう無理。でも神様の愛をいただいたら、必ず心から愛せるようになります。

祈り 天のお父様、苦手な隣り人も愛せるように、あなたの愛をください。

3月7日(土)



マタイ 22・34~40

これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている。 40節

聖書の中にある、たくさんのおいましめ。そのいましめは、神様を愛し、人を愛するなら全部守れるいましめです。つまり、神様と人とを愛することが何よりも大切なことなのです。イエス様は、いじわるなパリサイ人の質問にも見事に答えられたのでした！

神様には心から従い、隣り人には心からやさしさと思いやりを。たとえ苦手な人であっても、その人のために祈る。まわりの人があなたを見て、「神様を信じてる人ってすてきななあ」と思ってもらえるような、そんな生き方ができたら本当にすばらしいですね！

祈り 天のお父様、神様と人を愛して、まわりの方々にあなたのことを伝えていけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 25・1～13
主の再臨に備える
目をさましていなさい。その日
その時が、あなたがたにはわからないからである。マタイ 25・13
霊の目を覚まして、主のご再臨に備えた生き方をする。

目標

3月8日（日）

聖書
聖句

マタイ 25・1～13
目をさましていなさい。その日その時が、あなたがたにはわからないからである。 13節

イエス様が信じるわたしたちを再び迎えて来てくださる、このことを再臨と言います。その日その時は誰にもわかりません。来られる本人のイエス様も！ もちろんわたしたちもわかりません。ただ父なる神様だけが知っておられます。四年前は3・11という心張り裂けるような災害や、台風災害があり、世の終わりが近いと誰もが思ったでしょう。再臨から、最後の審判、新天新地、つまり永遠の神の国、つまり天国へと移されます。天国のたとえを心に刻みましょう。

いの祈り

天のお父様、あなたがいつ来られてもよいように、賢い五人が油を備えていたように、わたしをもお助けください。

3月9日（月）

聖書
聖句

マタイ 25・1～4
その中の五人は思慮が浅く、五人は思慮深い者であった。 2節

パッと思いついて、サッとやってしまう人もいれば、じっくり、ゆっくりよく考えてやる人もいます。パツ、サツも、時には必要かもしれないです。しかし、「目をさましていなさい」ということは、きっと、しっかり考えて賢くやりなさいということなのでしょう。天国のたとえに出てくるあかりを手にして花婿を迎えに出て行く十人のおとめ。半分の五人は考えが浅い人、あと五人は考え深い人で、あかりのために油も一緒に用意をしていたのです。

いの祈り

天のお父様、「花婿のおいでがもしかして遅いと、きっと油がもっと必要」と、よく考えた賢い五人のようでありたいです。

3月10日（火）

聖書
聖句

マタイ 25・5
花婿の来るのがおくれたので、彼らはみな居眠りをして、寝てしまった。 5節

「待つ」ことの苦手な子がいいますか？「長いこと待たされる」と、どんな気持ちになりますか？「やーめた。もうこれ以上無理、待てない」となりますか？この十人のおとめたちは、考えの浅い人たちも、考えの深い人たちも、花婿さんの来るのがおくれたので、待って、待つうちに、とうとうみんな居眠りがついてきて、コックリ、コックリ、そして、グーと寝てしまいました！気持ちよく寝ていれば、心もまことに平安でいいかもしれませんね。

いの祈り

天のお父様、イエス様のおいでになるのも、今もまだ長く待たれています。みんなが救われるよう待っていてくださるのですね。

3月11日(水)



マタイ 25・6~7

夜中に、『さあ、花婿だ、迎えに出なさい』と叫ぶ声^{せつ}がした。 6節

夜中^{よなか}、あなたはよく睡眠^{すいみん}ですか？ それとも浅い眠り^{あさいねむり}？ 子どもの間^{あいだ}はきっと夜中^{よなか}にふと目が覚めたりとか、眠れなかつたりとかはないですね。花婿^{はなむこ}さんは「夜中^{よなか}」にご到着^{とうちやく}でした！ Iテサロニケ5・2にも「主^{しゅ}の日は盗人^{ぬすびと}が夜^{よる}くるように来る」とありますから、突然^{とつぜん}、不意打ち^{ふいうち}のようにして、花婿^{はなむこ}なるイエス様がやって来られるのですね！ その呼ぶ声^{よびこゑ}に、十人のおとめたちは、一瞬^{いっしゆん}、ボーッとしたかもしれませんが、ハッとわれに帰^{かえ}ってあかりを整^{ととの}えました。

いの祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、いつイエス様^{きさま}が迎え^{むか}に来てくださってもいいように、目をさまして、待つ子ども^まにしてください。

3月12日(木)



マタイ 25・8~10

わたしたちとあなたがたとに足り^たるだけは、多分^{たぶん}ないでしょう。 9節

ところがです。考^{かんが}えの浅^{あさ}い五人^{ごにん}のおとめたちは、急^{きゆう}にあわて始め^{はじめ}ました。アラアラ、もう油^{あぶら}がきれてきて、あかりが消^きえそうだと。そこで油^{あぶら}の用意^{ようい}をしていた五人^{ごにん}の人たちにお願^{ねが}いしました、「あなたがたの油^{あぶら}をわたしたちにわけてください」とね。しかし、「あなたがたの分^{ぶん}までは足り^たりませんから、店^{みせ}にまで行^いってお買^かいになられたら？」と言^いわれました。五人^{ごにん}は出^でかけて行き、その内^{うち}に花婿^{はなむこ}が来^こられ、婚宴^{こんえん}のへやに五人^{ごにん}は一緒^{いっしょ}に入り、戸^とがしめられたのです！

いの祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、自分^{じぶん}の油^{あぶら}は自分^{じぶん}で、つまり、み言葉^{ことば}と聖霊^{せいれい}によって信仰^{しんこう}のあかりをしっかりとともさねばなりません。

3月13日(金)



マタイ 25・11~12

しかし彼^{かれ}は答^{こた}えて、『はっきり言^いうが、わたしはあなたがたを知らない』と言^いった。 12節

「そして声^{こゑ}がしめられた」というみ言葉^{ことば}は、ノアの箱舟^{はこぶね}の時のことを思い出^{おも}しますね。神様^{かみさま}がしめられたら、もう絶対^{ぜつたい}にもう一度^{いちど}あけられるチャンス^{チャンス}、入れるチャンス^{チャンス}はないのです。とても厳肅^{げんしゆく}ですね。ここでも油^{あぶら}を買い^かに行^いって来た五人^{ごにん}のおとめたちがやっとのこと^{こと}で帰^{かえ}てみると、ああ、声^{こゑ}がしめられている・・・『ご主人^{しゅじんさま}様、ご主人^{しゅじんさま}様、どうぞあけてください』と言^いうと、きょうのきびしいみ言葉^{ことば}の答^{こた}えでした。イエス様^{きさま}を知^しり、イエス様^{きさま}に知^しられている子ども^こに！

いの祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、毎週^{まいしゅう}、まじめに教会^{きょうかい}に行^いって聖書^{せいしよ}のお話^{はなし}を聞き、毎日^{まいにち}聖書^{せいしよ}を讀^よんでお祈^{いの}りをし、イエス様^{きさま}と共^{とも}に歩^{ある}きます。

3月14日(土)



マタイ 25・13

だから、目をさましていなさい。その日^ひその時^{とき}が、あなたがたにはわか^わらないからである。 13節

「だから」と、もう一度^{いちど}、今週^{こんしゅう}のみ言葉^{ことば}をしっかり、心^{こころ}に刻^{きざ}みましょう。「その日^ひその時^{とき}」、つまり、花婿^{はなむこ}なるイエス様^{きさま}がこの地上^{ちじょう}においでになる時^{とき}は誰^{だれ}にもわから^わないのです。ですから、きょうか、きょうかと、毎日^{まいにち}、いつも備^{そな}えている必要^{ひつよう}がありますね。それで毎日^{まいにち}、いつも「目をさまして」いなければなりません。もちろん夜^{よる}は身体^{からだ}は眠^{ねむ}りますが、心^{こころ}の眼^めはいつもさましているのです。それは教会^{きょうかい}へ行き、聖書^{せいしよ}を讀^よみ、お祈^{いの}りし、聖霊^{せいれい}に満^みたされていることです。

いの祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、ほん^{ちか}とにイエス様^{きさま}のおいでが近^{ちか}いと感^{かん}じられます。目をさまして信仰^{しんこう}生活^{せいかつ}に励^{はげ}むことができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 26・26～29

契約の血

これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。マタイ 26・28
契約の血として流されたキリストの血を覚え、罪のゆるしを受け取る。

目標

3月15日（日）

聖書
聖句

マタイ 26・28

一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福してこれをさき、 26節

今週は、イエス様が十字架にかかれる前の晩のお話です。イエス様と弟子たちは、逾越の祭りのお食事をしました。イエス様はご自分からパンをとって、神様に感謝のお祈りをささげられました。

もうすぐ、ご自分が十字架にかかることを知っておられたイエス様。弟子たちとの最後の食事の時間を、大切に大切にすごされたのです。このお食事が、教会の聖さん式の始まり。洗礼を受けた人も、これからの人も、イエス様が聖さん式を大切にされたことを心にとめていてください。

いの祈り

天のお父様、イエス様が大切にされた聖さん式を、わたしたちも大切にしています。

3月16日（月）

聖書
聖句

マタイ 26・26

イエスはパンを取り、祝福してこれをさき、弟子たちに与えて言われた、「取って食べよ、これはわたしのからだである」。26節

イエス様は、一つのパンをとって、弟子たちに言われました、「とって食べなさい、これはわたしのからだです」。このパンがイエス様のからだ？ イエス様のからだは、わたしたちの罪の身がわりに十字架につけられました。一つのパンを分けたのは、イエス様のからだが一一人のために釘づけられたことをあらわしているのです。

聖さん式のパンは、自分の手でしっかりとってください。イエス様の十字架はわたしのため、とあなたが真剣に受けとめるためです。

いの祈り

天のお父様、イエス様の十字架はわたしのためだと真剣にうけとめて、パンをいただきます。

3月17日（火）

聖書
聖句

マタイ 26・27

また杯を取り、感謝して彼らに与えて言われた、「みな、この杯から飲め」。27節

パンを食べたあと、イエス様はぶどう酒の入った杯を一つ取りました。そして、「みんなこの杯から飲みなさい」と言われました。それぞれ自分でとって飲めばいいのに、どうして、わざわざイエス様の杯から飲むのでしょうか。

それは、同じイエス様の杯から飲む人たちは、みんな一つだということ。イエス様を信じる者同士、一つとなって愛し合うために、イエス様は同じ杯から飲ませたのです。みんなバラバラで自分のことだけを考えるのではなく、一つとなって愛しあうことを、イエス様は願っておられます。

いの祈り

天のお父様、イエス様を信じる者同士、一つとなって愛しあっていますように。

3月18日(水)

聖書
聖句

マタイ 26・28

これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。 28節

イエス様の杯のぶどう酒には、さらに大切な意味がこめられています。それは、すべての人の罪がゆるされるために、イエス様が十字架の上で流される血、という意味です。

わたしたちがどんなに良いことをしても、罪はなくならないし、ゆるされません。わたしたちの罪がゆるされるためには、イエス様が身がわりとなって血を流すしか方法はなかったのです。聖さん式でぶどう汁をいただくのは、十字架で血を流されたイエス様を思いだして、悔い改めと感謝をささげるためなのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様がわたしの罪の身がわりに血を流されたことを心から感謝します。わたしの罪をおゆるしてください。

3月19日(木)

聖書
聖句

マタイ 26・28

これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。 28節

「契約」という言葉は、簡単に言うと、だれかとだれかが真剣にお約束をすることです。「イエス様が流された血は、わたしの罪の身がわり」と信じる人は、だれでも罪をゆるしていただけますね。これはイエス様が与えてくださった、新しい契約なんです！

それまでは、罪を犯すたびに動物の血を流さなければなりません。信じるだけでゆるされるなんて、ものすごいイエス様のお約束。でも、このすばらしい契約を与えるために、イエス様がどれほど苦しんで血を流されたか、決して忘れないでください。

いの祈り 天のお父様、新しい契約を与えるため、イエス様が血を流されたことを忘れずにあゆんでいきます。

3月20日(金)

聖書
聖句

マタイ 26・29

わたしの父の国であなたがたと共に、新しく飲むその日までは、わたしは今後決して、ぶどうの実から造ったものを飲むことをしない。 29節

イエス様は、十字架にかかれたあと、よみがえられ、天にのぼられることを知っておられました。天にのぼってそのまま？ いいえ、もう一度地上において来られるのです。その時、イエス様を信じる人々全員を招待して、またいっしょにお食事をするんですって！

イエス様は、その日を心から楽しみにして、その時が来るまでは、お祝いのぶどう酒は決して飲まないよ、と言われたのです。イエス様を信じる人なら、もれなく全員ご招待！ そう、あなたも招かれているんですよ。

いの祈り 天のお父様、イエス様とのお食事を心から楽しみに、あなたを信じてあゆみます。

3月21日(土)

聖書
聖句

Iコリント 11・24

これはあなたがたのための、わたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。 24節

今日のみことばは、パウロが聖さん式についてのイエス様の言葉を教えている箇所です。聖さん式は、イエス様が十字架にかかれる前の晩、弟子たちとお食事がモデル。教会の聖さん式は、実はイエス様を中心にした食事のお交わりをしているんです。イメージがちがうかもしれないけれど、そう思うとすごく素敵なこと。十字架の上で裂かれたイエス様のからだ、流された血をけっして忘れないように、記念するために行うのです。

命まで捨てて、新しい契約を与えてくださったイエス様。そのことを心から感謝して、聖さんにあずかる人になってください。

いの祈り 天のお父様、新しい契約を心から感謝して、聖さん式に出たいと思います。



聖書
テマ
暗唱聖句

マタイ 26・47～56

捕えられたイエス

しかし、すべてこうなったのは、預言者たちの書いたことが、成就するためである。

マタイ 26・56

目標

自ら十字架の死へと向かわれたキリストを覚え、信じ従う者となる。

3月22日(日)

聖書
聖句

マタイ 26・47～48

イエスを裏切った者が、あらかじめ彼らに、「わたしの接吻する者が、その人だ。その人をつかまえろ」と合図しておいた。 48節

今週は、イエス様が十字架にかかれるため、ついに逮捕される場面を読みます。イエス様がゲッセマネというところにおられた時、十二弟子のひとり、ユダがやってきました。剣や棒を持つ人々を引きつけて！ユダはイエス様をつかまえる協力をし、たくさんのお金をもらっていました(マタイ 26・14～16も読もう)。そして、イエス様をつかまえる合図まで決めていたのです。弟子に裏切られたイエス様はどんなお気持ちだったでしょう。逮捕されるイエス様のお姿を、しっかり読んでいきましょう。

祈り

天のお父様、逮捕されるイエス様のお姿をとおしてみこころを教えてください。

3月23日(月)

聖書
聖句

マタイ 26・49～50

イエスは彼に言われた、「友よ、なんのためにきたのか」。 50節

イエス様を裏切ったユダは、人々に逮捕される合図をするために、イエス様に近づきました。つかまえるために、「先生、いかがですか」とやさしいふりをして近づくなんて、ひどすぎます。イエス様はどんなに悲しく、つらかったことでしょうか。しかし、そんなユダにたいしてイエス様は、「友よ」と声をかけられたのです。

もし、わたしたちがこんなふうに裏切られたとしたら、「あなたなんか、もう友だちじゃない！」と言うのではないのでしょうか？しかしイエス様は、ご自分を裏切ったユダも、最後まで心から愛されたのでした。

祈り

天のお父様、自分を裏切る人を愛することは、なかなかできません。イエス様の愛の心をあたえてください。

3月24日(火)

聖書
聖句

マタイ 26・51～52

あなたの剣をもとの所におさめなさい。剣をとる者は、剣で滅びる。 52節

イエス様がかまえられた時、なんと、弟子のひとりが剣をとり、大祭司のしもべにふりおろしました！そして、そのしもべの耳に大ケガをさせてしまったのです。イエス様を守ろうとしたのですが、イエス様は「剣をおさめなさい。剣を使う人は剣で滅びます！」と止められました。

イエス様は、ご自分がかまる時でもあわてず、けってして仕返しはされませんでした。しかし弟子たちは、イエス様がかまるという大ピンチで大あわて。まちがったことをしてしまいました。わたしたち人間はピンチにおちいると、あわててまちがいを犯しやすくなるのがわかります。

祈り

天のお父様、ピンチになると、あわててまちがいを犯しやすいわたしを、まちがいから守ってください。

3月25日(水)



マタイ 26・53~54

しかし、それでは、こうならねばならないと書いてある聖書の言葉は、どうして成就されようか。 54節

イエス様は神の御子。イエス様がお願いしようと思えば、いつだって大勢のみ使いたちを送ってもらって、助けてもらうことはできたのです。しかしイエス様は、ご自分が助かるために命令はされませんでした。つかまえられて十字架にかかることは神様のご計画だったので、そのとおりに成就するように従われたのです。

イエス様は、ご自分のことだけを考慮して、何かをお願いしたり命じたりされることはありませんでした。どこまでも神様のご計画をいちばん大切にされたのです。

いの祈り 天のお父様、わたしも神様のご計画をいちばんに考え、大切にしていけますように。

3月26日(木)



マタイ 26・55~56

わたしは毎日、宮ですわって教えていたのに、わたしをつかまえはしなかった。 55節

イエス様をつかまえに来た人たちは、みんな剣や棒を持っていました。武器など持たないイエス様をつかまえるのに、まるで強盗をつかまえるかのような、おかしい格好！ イエス様は毎日、宮で人々を教えていたのに、つかまえようと思えばできたはずなのに、彼らはそうしませんでした。それは、神様のご計画の時ではなかったから。

すべてのことは、神様がおゆるしにならないければ起こらないのです。わたしたちも神様のご計画の中で、神様のおゆるしがあって生かされているのですよ。

いの祈り 天のお父様、あなたのおゆるしがあって、今生かされていることを感謝します。

3月27日(金)



マタイ 26・55~56

しかし、すべてこうなったのは、預言者たちの書いたことが、成就するためである。 56節

ついに、神様のご計画の時がきました。イエス様は逮捕されて、つれて行かれることになったのです。イエス様が逮捕され、十字架につけられることは旧約聖書で預言されていたことでした。イエス様が、だれよりも聖書に書かれているとおりに生きておられたことがわかります。みことばのとおり生きてらご自分が十字架にかかるわかっているにもかかわらず、従われたのです。みことばに従うことは、それほど大切なことなのです。

みことばを守り、従うということを真剣に考えてみましょう。イエス様が最高のお手本です。

いの祈り 天のお父様、イエス様のように、真剣にみことばに従うことができますように。

3月28日(土)



マタイ 26・47~56

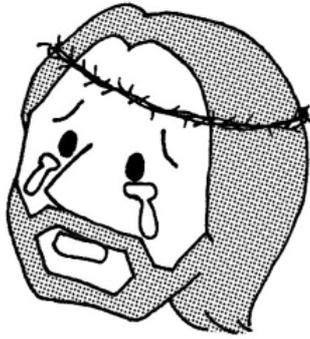
「しかし、すべてこうなったのは、預言者たちの書いたことが、成就するためである」。そのとき、弟子たちは皆イエスを見捨てて逃げ去った。 56節

イエス様は何の抵抗もせず、文句ひとつ言わず逮捕され、つれて行かれました。弟子たちはというと、イエス様がつかまったのを見て、大あわてで逃げて行ってしまったのです！ …イエス様は、ひとりぼっちになりました。見捨てて逃げていく弟子たちを引きとめもせず、ただ静かに、自分から十字架にかかるため進んでいられました。

このイエス様のお姿を心にとめてください。いやいやながらでなく、自分から進んで神様に従っていくことができるよう、祈りましょう。

いの祈り 天のお父様、自分から進んで十字架にむかわれたイエス様にならない、進んで神様に従う人にならせてください。

棕櫚の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 27・45～56
十字架による救い
わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。
マタイ 27・46
目 標
み が 身代わりの十字架の意味を知り、キリストを信じて救いを得る。

3月29日(日)

聖書
聖句

マタイ 27・45～56
わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

今年も受難週を迎えました。復活祭は4月5日です。その準備のようにして、今週、イエス様の十字架上の七言を暗誦し、心に刻みつけましょう。一つ一つのみ言葉が「わたしのため」と思って味わいましょう。

きょうのみ言葉は第四言で、ちょうど真ん中の、まさに中心的なものです。わたしや全人類の罪とのろいを本当に背負われたイエス様が、身代わりに神様から完全に捨てられてくださった、その証拠のようなみ言葉です。

祈り

天のお父様、わたしに代わって捨てられてくださった主を感謝いたします。捨てられない者としてくださり感謝感謝です。

3月30日(月)

聖書
聖句

ルカ 23・32～38
父よ、彼らをおゆるしください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。 34節

第一言です。十字架のふもとは、罪と汚れと、自己中心とねたみとの渦でした。イエス様をあざけったり、罵ったり、つばきをかけたり、また、イエス様の衣をくじ引きで奪い合ったりと、底のないような人間の醜い姿です。そこから少し高い、血にまみれた十字架の上に、身代わりについてくださった神の御子イエス様の愛にあふれた清いとりなしの祈りです。「何をしているのか、わからずにいるのです」と完全なパーフェクトなゆるしのお祈りです。

祈り

天のお父様、イエス様のこの命をかけたとりなしのお祈りで、罪ゆるされ、救われ神の子としてくださり感謝です。

3月31日(火)

聖書
聖句

ルカ 23・39～43
あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。 43節

第二言です。なんと、十字架のふもとだけでなく、イエス様の両側の十字架につけられた強盗たちさえも、イエス様に悪口を言い続けていました。「お前が神の子なら、そこから降りて、われわれも救え！」って。ところが、片方の人の心が変わったのです。きっと、あのとりなしのお祈りを聞いて、神の愛に打たれたのです。「み国の権威をもって来られる時、どうぞわたしを思い出してください」との彼の言葉に、第二言のみ言葉が語られました。

祈り

天のお父様、全人類はイエス様の十字架で右と左の二つに分けられます。あなたを信じてパラダイスに行かせてください。

4月1日(水)



ヨハネ 19・23~27

「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」。…「ごらんなさい。これはあなたの母です」。26~27節

第三言です。十字架のふもとにいた母マリヤ。その心はきつと張り裂けるような痛みでいっぱいだったでしょう。かつてシメオンが預言して言いました。「あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう」と。本当にその通りでした。その横に立つ愛弟子ヨハネと共に見ながら、母マリヤをヨハネにおゆだねします。その時からヨハネはマリヤの面倒を見るのです。十字架、神の愛のあらわれ、その十字架を中心に、神の愛の家族が誕生するのです。苦しみの中の主の思いやりです。

いの祈り

天のお父様、イエス様の十字架の愛によって結ばれた、新しい人間関係、神の家族を感謝します。祝してください。

4月2日(木)



ヨハネ 19・28~30

わたしは、かわく。 28節

第五言です。去年の夏もとても暑くて、よくのどが渴いたことでしょう。肉体のかわきは、十字架の上では、本当に大変なものだったと思います。イエス様がわたしに代わって、これほどの苦しみと渴きを味わってくださいました。何かをもってイエス様の渴きを潤してさしあげたいですね。イエス様は、わたしたちの愛に渴いておられます。わたしたちの清さに渴いておられます。救われる魂がつづいて与えられるよう渴いておられるのです。

いの祈り

天のお父様、小さいわたしたちももっと聖書を読んだり、お祈りして、イエス様を愛する子どもにしてください。

4月3日(金)



ヨハネ 19・28~30

すべてが終った。 30節

第六言です。とても短いみ言葉ですが、とても力ある、勝利の叫びなのです。「完全になしとげました!」「完了しました!」「完成しました!」というみ言葉です。何がなしとげられたのでしょうか? わたしたち一人ひとりを、そして全人類を、罪から救う道、永遠のほびから完全に救う「あがない」のみわざがなしとげられたのです! 誰でも十字架のイエス様を信じるだけですべての罪がゆるされ、永遠の命が与えられる素晴らしいあがないの完成です。

いの祈り

天のお父様、どの国の人にも、どの時代の人にも、信じるすべての人が救われるあがないの完成。ハレルヤです!

4月4日(土)



ルカ 23・44~49

父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。 46節

第七言です。父なる神様からの地上での使命、十字架によるあがないの務めをみごとに果たして、十字架上で言われた最後のみ言葉です。静かに、平安な思いで、「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」と。

地上での最後の時を、自分がいつ、どこで、どのように迎えるのかは、だれにもわかりません。年をとってから死ぬというわけでもないですね。でもイエス様を信じているなら、いつでもでもこの祈りで心安らかに主のみもとへ行けますね。

いの祈り

天のお父様、イエス様はすべての面でわたしたちのお手本です。しっかりつながって光の中を共に歩んでいきます。